

Our Management

CEOメッセージ	02
価値創造の軌跡	08
価値創造プロセス	10

Our Future

持続的な成長に向けて	12
マルチブランド戦略	14
ライフデザイン領域における au 経済圏拡大	16
成長領域～ビジネスセグメント	18

Our Discipline

CFOメッセージ	20
連結業績ハイライト	24
財務・非財務ハイライト	26

Index

持続的な成長と 中長期的な企業価値向上の実現

KDDIは、社会インフラを担う情報通信事業者として、24時間365日いかなる状況でも、安定した通信サービスを提供し続けるという重要な社会的使命を担っています。

また、情報通信事業は、電波などの国民共有の貴重な財産をお借りすることで成り立っており、社会が抱えるさまざまな課題について、情報通信事業を通じて解決していく社会的責任があると認識しています。

この社会的使命・社会的責任を果たすため、KDDIは「中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)」の達成に向けて取り組むことで、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

Tomorrow

編集方針:財務情報・非財務情報の開示について

本統合レポートは、Value Reporting Foundation (VRF: 価値報告財団。IIRCとSASBの合併により発足)をはじめとした複数のガイドライン・フレームワークに基づき、投資家の皆さまが特に必要とされる基礎情報・財務データ・経営戦略・サステナビリティ情報を抽出して掲載しています。環境・社会側面の非財務情報を拡充した「サステナビリティレポート 2021」をはじめ、本統合レポートに掲載していないサステナビリティ・研究開発情報などについては、当社のWEBサイトをご参照ください。

なお、当社は、2016年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。本冊子において、明確な記載がないものについては、2014年3月期までは日本基準、2015年3月期以降はIFRSに準拠した表示としています。

(WEB) 財務情報など



投資家情報(IR) • 有価証券報告書 • 決算短信
• コーポレート・ガバナンス • 事業等のリスク
<https://www.kddi.com/corporate/ir/>

Our Sustainability

KDDI Sustainable Action 28
 非財務情報と企業価値の相関を探る
 30
 KDDIの気候変動への対応 32
 KDDIの人財 34
 マテリアリティKPI 36

Our Performance

国内市場とKDDI 38
 連結損益計算書分析 41
 連結財政状態計算書分析 42
 設備投資/キャッシュ・フロー分析
 43
 セグメント別分析 44

Our Governance

役員 50
 社外取締役メッセージ 52
 コーポレート・ガバナンス 54
 リスクマネジメント・内部統制 59
 コンプライアンス 62
 情報開示とIR 63

Corporate Data

連結財務諸表 64
 会社概要/株式の状況 69



企業理念

KDDIグループは、全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、お客さまの期待を超える感動をお届けすることにより、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献します。

ブランドメッセージ

Tomorrow, Together **KDDI**
 おもしろいほうの未来へ。 **au**

目指す姿

- ① お客さまに一番身近に感じてもらえる会社
- ② ワクワクを提案し続ける会社
- ③ 社会の持続的な成長に貢献する会社

事業戦略・財務目標

経営基盤強化

中期経営計画 P. 07

持続的成長に
 向けて

P. 12

CFOメッセージ P. 20

(WEB) 非財務情報など



サステナビリティ
<https://www.kddi.com/corporate/csr/>



研究開発(R&D)
<https://www.kddi.com/corporate/r-and-d/>

将来見通しの記述について

このレポートに記載されているKDDIの将来に関する計画・戦略・確信・期待などのうち過去の事実以外のものは、将来の業績に関する見通しの記述であり、不確実性を含んでいるため、実際の結果と異なる場合もあります。潜在的な不確実性を含むものとしては、KDDIまたはKDDIのグループ会社が取引する、海外の国々における景気および為替レート、特に米ドルに影響するものやユーロなどさまざまな外貨に関するもの、KDDIおよびグループ会社が「急速な技術革新と新サービスの安定供給ならびに厳しい価格競争で特徴づけられた」通信市場において、新たな顧客を獲得するための、発展的かつ魅力的なサービスを提供し続ける能力などがあげられます。